

バランスシートから何がわかるのですか。

バランスシートは、これまでに本県が形成してきた資産（道路、公園など）と、それを調達するために使われた負債（借入金（県債）など）について対比したもので、減価償却等の企業会計的手法を取り入れて作成したものです。

平成13年度末のバランスシートは、27頁のとおりですが、主な項目について前年度と比較しました。

バランスシートの構成

- (1) 資産：地方公共団体の財産となっているもの
 - 有形固定資産：道路、公園、学校などの土地、建物等
（時価ではなく取得原価を基準に計上し、資産の区分ごとに定められた耐用年数により減価償却（定額法）を実施）
 - 投資等：財団法人等への出資金、貸付金及び用途が制限されている特定目的基金
 - 流動資産：歳計現金（形式収支）、財政調整基金、減債基金及び県税等の未収金
- (2) 負債：資産形成の財源として調達した資金のうち将来返済を要するもの
 - 県債：長期にわたって県が返済しなければならない借入金
 - 退職給与引当金：年度末に県職員全員（県費負担の公立小中学校教員を含む）が普通退職したと仮定した場合に必要となる退職手当総額
- (3) 正味資産：資産形成の財源として調達した資金のうち将来返済を要しないもの（資産 - 負債）の金額
 - 国庫支出金：有形固定資産の取得に充当した国庫支出金（減価償却後）
 - 一般財源等：税金など国庫支出金以外のもの

① 資産の状況

資産の状況

(億円)

区 分	H12年度A	H13年度B	B - A	$\frac{B}{A}$
1 有形固定資産	20,967	21,914	946	1.05
2 投資等	2,106	1,971	135	0.94
3 流動資産	785	769	16	0.98
資産合計	23,858	24,653	796	1.03

(注) 数値はすべて四捨五入しており、合計額の一致しない箇所があります。

本県の平成13年度末の資産総額は2兆4,653億円で、平成12年度末に比較して3%増加しています。その内訳としては有形固定資産が2兆1,914億円(構成比88.9%)で一番大きく全体の約9割を占めています。そのほかには投資等が1,971億円(構成比8.0%)、流動資産が769億円(構成比3.1%)です。

資産のうち約9割を占める有形固定資産の内訳は、道路・橋りょう・河川等の土木関係が60.0%、農林道・土地改良施設等の農林水産業関係が22.1%、県立高校・体育施設等の教育関係が8.5%です。

基金の状況

(億円)

区 分	H12年度A	H13年度B	B - A	$\frac{B}{A}$
特定目的基金等	930	827	103	0.89
財政調整基金	80	85	5	1.06
減債基金	505	505	0	1.00
基金合計	1,516	1,418	98	0.94

(注) 数値はすべて四捨五入しており、合計額の一致しない箇所があります。

県の貯金にあたる基金は投資等に計上されている特定目的基金等が827億円、流動資産に計上されている財政調整基金・減債基金が590億円であり、合計で1,418億円となっています。

特定目的基金等が平成12年度末に比較して11%減少していますが、これは県庁舎整備基金や緊急雇用創出基金などの取り崩しによるものです。

② 負債・正味資産の状況

区 分	H12年度A	H13年度B	B - A	$\frac{B}{A}$
1 県債	9,089	9,661	572	1.06
うち財源措置のあるもの	5,751	6,111	360	1.06
うち財源措置のないもの	3,339	3,550	212	1.06
2 退職給与引当金	1,845	1,863	18	1.01
負債合計	10,934	11,524	590	1.05
1 国庫支出金	6,040	6,250	209	1.03
2 一般財源等	6,883	6,880	4	1.00
正味資産合計	12,923	13,129	206	1.02
負債・正味資産合計	23,858	24,653	796	1.03

(注) 数値はすべて四捨五入しており、合計額が一致しない箇所があります。

負債総額は1兆1,524億円で、このうち県債残高は9,661億円、退職給与引当金は1,863億円ですが、この県債残高のうち約6割の6,111億円(構成比63.3%)は、将来地方交付税等で財源措置されますので、県債の実質的な残高は3,550億円となります。

また、資産から負債を差し引いた正味資産は、平成12年度末に比して2%増加の1兆3,129億円(県債のうち実質残高のみを負債とした場合は1兆9,240億円)となっています。

以上のように、バランスシート上では資産の額(2兆4,653億円)が負債の額(1兆1,524億円)を大きく上回っており、いわゆる債務超過には陥っていません。

(参考) 県債のうち実質残高のみを負債とした場合のバランスシート

区 分		H12年度A	H13年度B	B - A	$\frac{B}{A}$
借 方 資 産	1 有形固定資産	20,967	21,914	946	1.05
	2 投資等	2,106	1,971	135	0.94
	3 流動資産	785	769	16	0.98
	資産合計	23,858	24,653	796	1.03
貸 方 負 債	1 県債	3,339	3,550	212	1.06
	2 退職給与引当金	1,845	1,863	18	1.01
	負債計	5,184	5,413	230	1.04
	正味資産	18,674	19,240	566	1.03
負債・正味資産合計		23,858	24,653	796	1.03

(注) 数値はすべて四捨五入しており、合計額が一致しない箇所があります。